

南小だより

令和6年3月19日
佐世保市立吉井南小学校
校長 中村 雅男

第77回卒業証書授与式

昨日、「第77回卒業証書授与式」を無事に終え、23名の卒業生が本校を巣立っていきました。日頃からお世話になっている保護者や地域の皆様のお力添えのおかげです。本当にありがとうございます。

式辞の中で「人との関わり」をテーマに「人のためになれる人になってほしい!」、「人を頼れる人になってほしい!」、という校長の思いを、励ましの意味を込めて伝えました。この二つは相反する言葉のように受け取れるかもしれませんが、しかし、どんなに社会が変化しても、人とのつながりはなくてはならないもの、かけがえのないものだと思っています。これからの社会を切り拓いていかねばならない卒業生にそんな思いを乗せて式辞といたしました。

その一部を抜粋して紹介させていただきます。ご一読いただければ幸いです。

わたしたちがくらすこの社会は常に変化しています。「よくなったり、悪くなったり」、「便利になったり、不便になったり」、「平和になったり、戦争が起こったり」… ますます急速に変化してゆくであろうこの社会を切り拓いていくべき卒業生の皆さんに、励ましの言葉を二つ贈ります。

ひとつ目は「人のためになれる人になってほしい!」ということです。どんなに社会が変化しても、人とのつながりの中で人は生きていきます。この一年間、「〇〇のためにがんばろう!」という言葉が皆さんに投げかけてきました。「友だちのため」「下級生のため」「家族のため」「地域の方々のため」… その期待に応え、皆さんは吉井南小学校のために、いろんな場面で活躍してくれました。下級生をまとめ、立派に成功させた運動会は校長として誇らしいほど見事でした。まさに「みんなのために」なれた六年生の姿を見ることができました。どんなちっぽけな自分でも、どんなに小さな力でも、六年生は力を結集し、見事に「人のためになれること」を証明してくれました。卒業生の皆さん、これから出会うであろうたくさんの方々のまわりの人々とつながり、それらの人のためになる生き方をしてほしいと願っています。それがきっと自分をさらにひと回り成長させてくれるはずです。

ふたつ目は「人を頼れる人になってほしい!」ということです。「苦しいとき」「つらいとき」「泣きたいとき」… こんなとき、「助けてほしい…」と人に助けを求めることは弱いことでも逃げていることでもありません。自分一人の力でどうにもできないことが、世の中にはたくさんあります。どうぞ、勇気を出して「助けてほしい」と打ち明けることのできる人になってください。皆さんのそばには家族がいます。よき友がいます。支えてくれる誰かが必ずあなたのまわりにいます。人を頼り、困難に打ち勝てる人になってほしいと願っています。

